

令和7年度第2回高知県健康づくり推進協議会 議事要旨

日時：令和8年2月16日（月）18:30～20:30

場所：高知共済会館3階「藤」

方法：対面とオンライン（Zoom）の併用開催

出席者：出席16名、代理出席1名、事務局6名、オブザーバー6名

議題（1）第5期高知県健康増進計画（よさこい健康プラン21）の推進に関する令和7年度の取組及び来年度の取組予定について

■「令和7年度各専門部会の開催状況について」

■「基本目標」「子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着」「働きざかりの健康づくりの推進」について

- ・委員より、基本目標の令和4年度の健康寿命健康日本21で資料として発表した健康寿命のデータで、なぜ高知県がこの年に悪くなったのか。コロナの影響であれば、全国のデータも悪くなってるはずなので、分析する必要があるのではないかと考えている。高知県の地域の中で東なのか西なのか中山間が落ち方が激しかったのかというところは非常に重要なポイントではないかと思うとの質問があり、詳細の分析ができておらず、今のところ新型コロナウイルス感染症の影響が反映された結果というところになっており、もう少し深く精査をしていきたいと回答した。
さらに委員より、3年間、PDCAサイクルからしても効果のない政策をしてるかもしれないから、健康寿命に関する指標を高知版として追いかけるサンプリング調査など、高知県独自のKPIみたいなものを算出してくというのも一つの手なのかもしれないとの意見があった。
- ・委員より、健康寿命は、要介護認定をされている人の影響もあるので、平均寿命の動きとか要介護認定の状況を併せて見ていく必要があるかと思う。この過去数年間、今後の経年的な動きが分かるような資料とかを見て、可能なことがあれば一緒に考えて助言したいと思う。今のところでは要介護認定の状況とか他の状況を見た上で考えないといけないのではないかとの意見があった。
- ・委員より、健康教育が学校の単位の中でどれくらいの時間が取れているのか、何時間くらいの時間数でこういう教育をされているのか、従来から比べて増えているのか減っているのか。データ化したことでの時間数や、どれだけ力を入れておるのか状況を教えていただきたい。また、健康アプリのウォーキングチャレンジ、次から

と事業が継続されて、やっている側としたらだんだん最後は疲れて、どうでもいいようになってしまう。年間きちんと計画した上で事業をやっていたら助かるなど今年は感じたので、今後少し工夫していただいたらと思うとの質問と意見があった。1点目の学校の単位の中で保健教育が時間数で増えているのは事実で、昨年は、視力がどんどん落ちていることに対して、どうしたら良くなるかという文科省からの指針を養護教諭だけでなく、学校の管理職員が集まるような場で研修を行ったりもしている。学校全体で健康に取り組むように保健体育課としては進んでいる。2点目はアプリでのアンケート調査によると、イベントがあるたびにエントリーして頑張っているというお声が比較的多く、イベントがあるときにやるというご意見に対応するため、複数回イベントを企画したが、今が何の期間で、何のエントリーがあつてというのが、複雑になっているところもあると思うので、今後、皆様に分かりやすいような期間の設定を検討していきたいと回答した。

- ・委員より、その事業所アカウントが今、どんな使い方をされて活用されてるのか、また健康づくりについてどんな使い方をされてるのか教えて欲しいとの質問があり、独自のイベントとして、社員に商品を掲げて2週間のウォーキングイベントをやられていたり、メッセージアプリ機能の活用として健診を受けてほしいというようなことだったら、お知らせ機能として使っていただくような取組をされてる企業が多いと回答した。
- ・委員より、学校保健委員会の設置が高知県は非常に遅れている。また、設置した後の活動内容についてや対応を把握しているのかとの質問があり、内容の詳細については、県として把握はしていないが、学校の訪問、各先生方の研修での聞き取り等によると、学校の実態に応じて中身は充実し、健康課題に関して取り組むように進んできているように感じている。設置に関しては、小規模校で設置に向けてできていない学校もあるが、現在ほぼ100人近い状態の学校は設置については完了していると回答した。

■「生活習慣病の発症予防と重症化予防対策」について

- ・委員より、重症化予防をより実効性のあるものにするためには、やはり医療機関内でまずは栄養食事指導につなげる仕組みづくりと、管理栄養士だけではなく保健師・看護師・薬剤師さんを含めた多職種での事例の共有、地域全体での人材育成が非常に重要であると考えている。次年度は事例検討の場において、地域で糖尿病患者さんに関わってこられた保健師や看護師の方にもご発表いただけるように働きかけを行って行って、本協議会の皆様とも連携をしながら、栄養食事指導が必要な方に確実に届く体制整備というところで進めていただけるようお願いしたいと

の意見があった。

- ・委員より、男性で罹患が多い前立腺がんについても、がん検診で受けられるよう、対策を検討してはどうか。また、検診後に精密検査が必要になった方へのフォローについて、事業主に対しては労働局等から働きかけされているので、県からは検診機関からもしっかり受診を促すよう働きかけをお願いしたいとの意見があった。事務局からは、担当課に共有すると回答した。

■分野ごとの健康づくりの推進について

- ・委員より、飲酒でアルコール健康障害予防に関する高等学校・大学、働き盛り世代への予防講座の実施とセットで予防講座みたいなのができないか。アルコールだけやるのではなく、たばこと一緒にセットにしてやってもいいのではないかと意見があった。
- ・委員より、禁煙について、自営業者、特に漁業者とか農業者では、どこでもたばこを吸っているのを見掛けるようになった。そういった人向けにあなたはどこでたばこを吸っていますか、どこでもたばこを吸ってはいけませんよのような、啓発物があると、活動がしやすいと思ったとの意見があり、啓発資材について、いただいたご意見も含めた内容も検討したいと回答した。

以上をもって閉会とした。